

耀き疾走する仲間達の実存、実践

身  
心



「身」、身体から考える。「身」は「実」だからだ。

たとえば佳き人ほど、人の心に心の底から心寄り添わそうと心砕くもの。けれども哀しいかな、人の心は己を含め誰にもわからない、其之在処辿ること叶わず、手に取りて見ること能わず。

また、身を以て知り得たこと、身に沁みだことのみ、身(実)を以て表すこと、身(実)を以て人々に示すこと叶う。

翻って「身」に沁みておらぬものは「実」が無い、即ち思込みであり受売りであり、空理空論でしかないと言えよう。

無論、「心」は二ノ次では無い、「心」は「芯」だからだ。

人々の心が何より大切だからこそ、其之分らぬ心同士分かり合う為、「実」である「身」で「心」表すこと肝要、左記備に「身」に沁み入らせ、左様確と「心」得よ。

代表取締役社長CEO兼グループCEO

小野有理